



## 本校の学習について

これからの数年で、明確で目的のはっきりした目標を立てるように学ぶこと、異なる考え方をもった人々と協働すること、まだ利用されていない機会を見付けること、重大な課題に対する複数の解決策を把握することなどが、不可欠な能力になるといわれています。(教育とスキルの未来: Education 2030)

本校でも、これらの能力の土台を育てるために次のように、学習を進めます。

### ■学習・評価計画 & 記録表

単元や内容のまとめりについて、どのように学習し評価していくかを示した計画表です。個人で記録する欄があり、1年を通して自分の学びを振り返ることができます。

#### 【配付時期】

GW明けまでに

#### 【内容】

- まとめり等の題材名
- 評価物や方法について(簡単に)詳細は、ループリックにて説明
- ※あくまで、計画なので生徒の状況等で変わることもあります。
- ※授業のネタがばれることもあり、シンプルな計画です。

#### 【特に身に付けてほしい力】

- 複数のミッションに対して、優先順位を的確に判断し計画を立て遂行する。



□各教科3観点(知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)から評価します。各観点、バランスよく多様な方法で見とる予定です。

【例】イメージ



各教科各学年で、教科のHPに掲示します。

## (2024)国語科評価資料計画 & 評定記録表

章	単元名	知識技能	評定	思考判断表現	評定	主体的	評定	備考1
0	漢字5問テスト	5問テ						毎回授業開始時に実施
1	シンシユン	単テ		単テ		振り返り		
2	小論文1			作文		振り返り		
3	ダイコンは大きな根?	単テ		単テ		振り返り		
4	小論文2			作文		振り返り		
5	書写「天地」	作品						
6	ちょっと立ち止まって	単テ		単テ		振り返り		
7	聞き取りテスト			テスト				
8	話の構成を工夫しよう			スピーチ		振り返り		
9	書写「大木」	作品						
10	言葉の単位	単テ						
11	夏休みの課題	漢テ		POP		ワーク		
	資料数	8		8		7		

この欄には、評価物についての簡単なタイトル。評価物については、ループリックにてさらに詳細な説明があります。

各評価物の6段階の評定が入ります。  
A○、A、B○、B、C○、C  
※詳しくは裏面

各評価物について自分で記録していきます。適宜自分で振り返ることで、次の目標を決める資料となります。また、前期・学年末の評定についても、その結果について自分で理解できるようになります。



## ■評価について（ルーブリックの活用）

「明確で目的のはっきりした目標を立てるように学ぶこと」は、非常に重要でこのことによって、学習者は振り返ることができ、「失敗」が「成功」につながります。この経験の繰り返しが「挑戦」へとつながると考えます。

そこで、本校では、これを支えるために評価の手段としてルーブリックを活用します。

□ルーブリックとは、量や質などの複数の評価項目を一覧にまとめた「ものさし」のようなもの。

本校では、各評価物の状態をルーブリックにあてはめ、どのくらいの量や、どのような状態であれば評価がどうなるのかを具体的に示しています。

本校のルーブリックには2段階あり、

1つは、「ルーブリックの規準」※1で、各教科の学習指導要領の3年間を通して育てたい目標をもとに作成したものです。各教科1つあります。ホームページに掲載予定です。

もう1つは、「ルーブリックの基準」で、（※1）にそって、まとまりごとの評価物についてより具体的に状態や量的なものを示したものです。まとまりごとあり、各教科のクラスルームにその都度掲載します。

### 【本校のルーブリックと観点別学習状況の評価の関係】

○基本6段階評価（評価物が未提出等の場合0）

○観点別学習状況の評価にリンクさせ

A○、A、B○、B、C○、C で評価します。

目安

習得状況が十分に満足ならA、おおむね満足ならB、努力を要するならC

## ■評定について

○各評価物で生徒に示した「A○、A、B○、B、C○、C」を基に評定を算出します。

○評定を算出するために

「A○」=6、「A」=5、「B○」=4、「B」=3、「C○」=2、「C」=1か0とします。

○3観点ごとに各評価物の数値を合計し到達度を算出します。

【総括された観点別学習状況の評価の判断基準】

「A」…合計値に対する到達度70%以上

「B」…合計値に対する到達度45%以上

「C」…合計値に対する到達度45%未満

【5段階評定】

3観点の数値を合計し、その到達度を算出します。

「5」: 到達度85%以上、「4」: 到達度70%以上

「3」: 到達度45%以上、「2」: 到達度20%以上

「1」: 到達度20%未満

□評価物をしっかりと管理しておく自分の現在の位置が把握でき、今後の計画と照らし合わせることで、次の目標が見えてきます。



## ■学習を支援する手立てについて

### ○クラスルームの利用

クラスルームは、最低次の3つを作ります。

H R：各教科の課題の締め切りなどを掲載

教科：資料の提示・課題の内容や提出のやりとりをする

学年：学校全体の情報や日程などを掲載

※H Rを見ると各教科の課題の締め切りや重なり具合を確認でき、学習の計画を立てることができるようになっています。課題のやり取りやアドバイス等は、各教科のクラスルームで行います。

### ○学習振返り DAY

月に1度、5時間授業で放課後活動（部活動を含む）をしない日を設定します。その時間を使って、課題へのアドバイスや再テスト等を行います。生徒の自主的な学びをサポートする時間であり、先生方の授業を振り返る日になっています。

必ずしも全教科あるわけではありません。事前に、各学年のクラスルームにてお知らせします。



### ○学習通信の発行 **HPの評価資料計画とセットで見える見方をアナウンス**

年3回程度、各教科の進捗状況や課題の様子についてお知らせします。

ご家庭で、学習について話題にする機会にしてください。

すぐーるを利用したPDFでの配信予定

### ○夏休みの学習サポート

学生ボランティアを中心に、夏休み中に個々の生徒の学習をサポートする時間を設けます。個々の生徒のニーズに応じる形なので、一斉講義形式にはなりません。例年、お盆明けぐらいに設定されています。長期休業期間中に勉強を思い出す時間という意味合いも含んでいます。

## 「知識・技能」の評価の方法

「知識・技能」の評価の考え方は、従前の評価の観点である「知識・理解」、「技能」においても重視してきたところです。具体的な評価方法としては、例えばペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮するなどの工夫改善を図る等が考えられます。また、児童生徒が文章による説明をしたり、各教科等の内容の特質に応じて、観察・実験をしたり、式やグラフで表現したりするなど実際に知識や技能を用いる場面を設けるなど、多様な方法を適切に取り入れていくこと等も考えられます。

## 「思考・判断・表現」の評価の方法

「思考・判断・表現」の評価の考え方は、従前の評価の観点である「思考・判断・表現」においても重視してきたところです。具体的な評価方法としては、ペーパーテストのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループや学級における話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れたりと、それらを集めたポートフォリオを活用したりするなど評価方法を工夫することが考えられます。

## 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の方法

具体的な評価方法としては、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることなどが考えられます。その際、各教科等の特質に応じて、児童生徒の発達段階や一人一人の個性を十分に考慮しながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で、評価を行う必要があります。



↑文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センターより

### **+春と秋の学力テスト実施について**

「知識・技能」の定着を中心にした学習習慣の確立と「高等学校入試」への対応を考え2回実施。業者の提供による事前・事後のプリントに加えて、教育相談期間に行われる本校独自の学活「本校の教育について」「学問的誠実性」「テストの振り返り方」「マンダラチャートを利用した目標」にて利用予定。※詳細は、P T A 総会の中で説明済。

## 【ループリック規準の例】※HP（規準）

元町中学校 数学科 (規準) ループリック

各教科の学習指導要領の3年間を通して育てたい目標をもとに作成した状態を示したものです。各教科1つあります。

評価方法・評価物	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	レポートの記述等 質的資料	量的資料の 達成率例	レポートの記述等 質的資料	量的資料の 達成率例	
A <十分満足>	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則など様々な文脈で理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を的確に活用できる。	85%以上	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を様々な文脈で応用できる。	85%以上	「取組方法」/レポートの記述等レポートの記述等質的資料
		70%以上		70%以上	
B <概ね満足>	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則など理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理している。	60%以上	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	60%以上	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学をより広い生活や深い学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしている。
		45%以上		45%以上	
C <努力を要する>	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則など指定された文脈で理解しようとしている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることが限定的にしようとしている。	20%以上	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を指定された文脈の中で使用しようとしている。	20%以上	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしている。
		20%未満		20%未満	

【備考】このループリックをもとに、各教科、各学年、内容のまとまりごとにループリック基準を作成  
・基準ループリックについては、各教科のクラスルームに掲示

## 【ループリック基準の例】※教科クラスルーム

元町中学校 社会科 (基準) ループリック

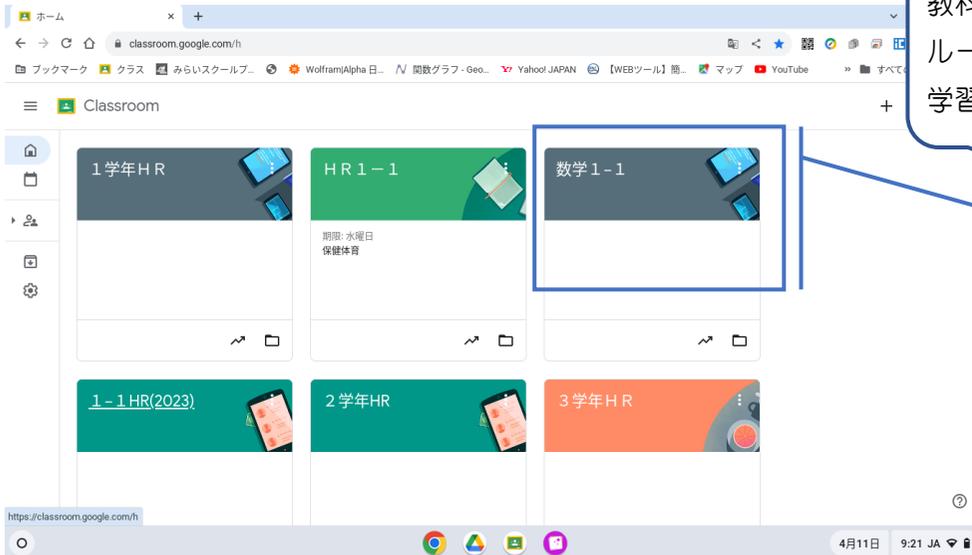
まとまりごとの評価物についてより具体的に状態や量的なものを示したものです。

【中学1年生：単元名 中世の日本】 縦め切り：レポート実施日（欠席の場合は学習振り取り day の日）

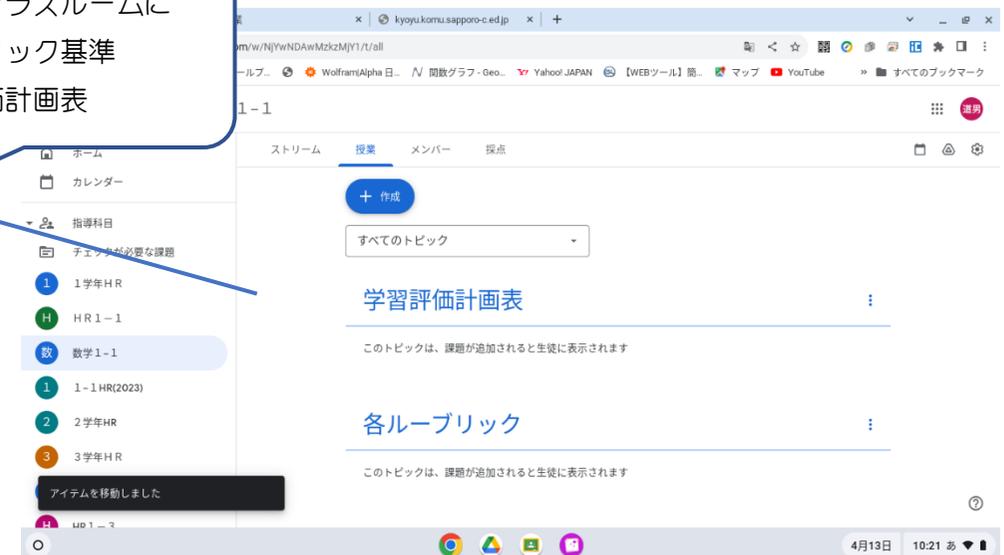
評価方法・評価物	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	レポートの記述等 質的資料	量的資料の 達成率例	レポートの記述等 質的資料	量的資料の 達成率例	
A <十分満足>	・自分の意見を述べるために、 <b>重要語句を6つ以上適切に活用</b> している。	85%以上	・B基準に加えて、 <b>論理的で読みやすい文章</b> になっている。	85%以上	・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、 <b>次の時代との関連を見出そう</b> としている。 ・Bの基準に加えて、 <b>具体的にスキルを活用した場面や学習内容にふれて振り返り、次回の目標が明確</b> である。
	・B基準に加えて、中世の特色について、 <b>古代との違いを明らかにし、述べている。</b>	70%以上		70%以上	
B <概ね満足>	・自分の意見を述べるために、 <b>重要語句を4つ以上活用</b> している。	60%以上	・レポートの「型」を文章全体にわたって使っている。また、 <b>400字以上の量</b> 。	60%以上	・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・単元の学習におけるスキルの活用について、その成果や課題について振り返り認知しようとしている。
	・中世の特色について、語句（できごと）の意味やつながりを理解し、述べている。	45%以上	・ある立場から中世の社会の変化の様子を述べている。	45%以上	
C <努力を要する>	・重要語句の使用が <b>3つ以下</b> である。	20%未満	・レポートの「型」を使用していない。または、読みにくい文章校正である。	20%未満	・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 ・Bの基準に達していない。記述量が少ない。提出期限を過ぎている。
	・中世の特色について、語句（できごと）の意味やつながりが <b>明確</b> になっていない。		・立場における中世の社会とのかかわりが、 <b>不明確</b> である。		

【備考】各教科まとまりで、ループリックの形に違いがあります。  
・ループリックに盛り込まれる内容は、共通していますが、さらに細かな指示がある場合もあります。  
・評価物によっては、モデルを示す場合もあります。

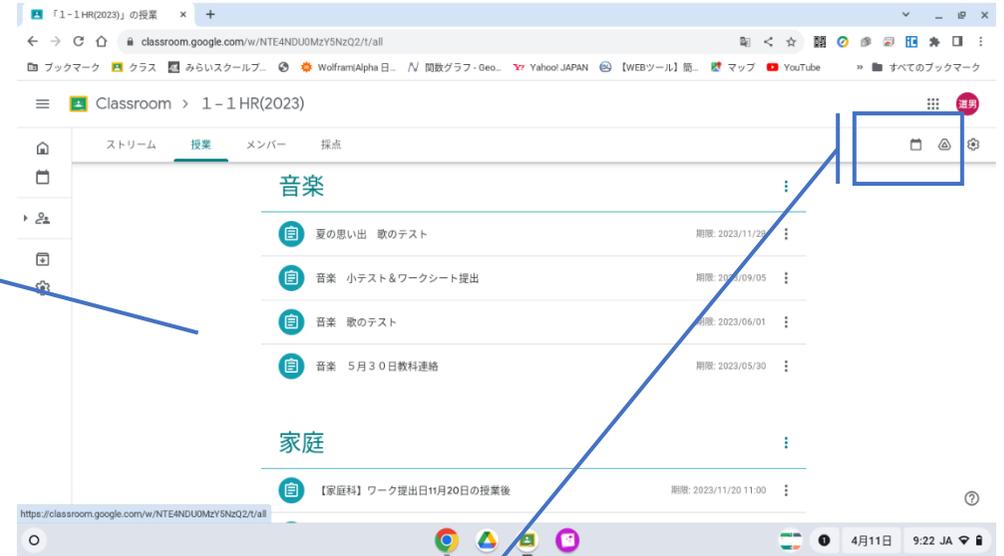
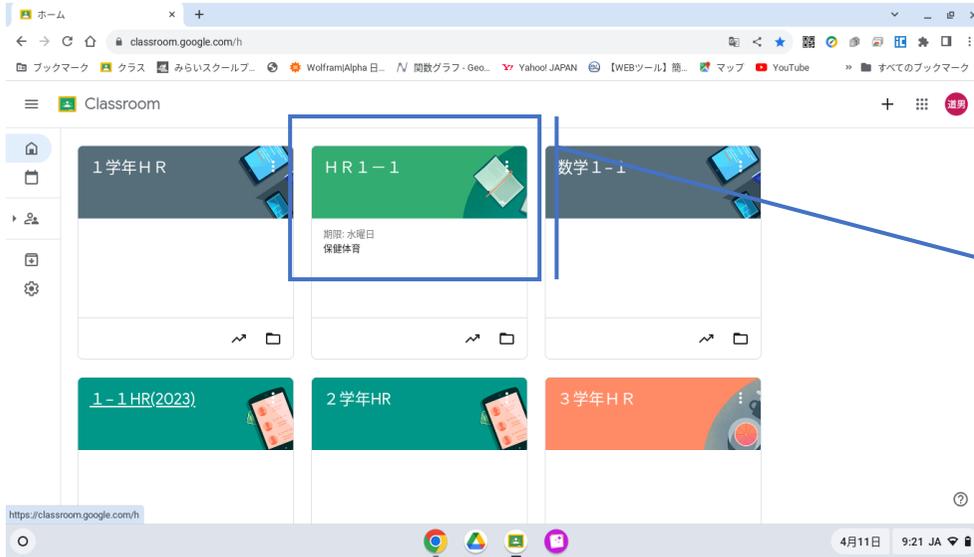
## 【クラスルームの様相】



教科のクラスルームに  
ループリック基準  
学習評価計画表



## 【クラスルームカレンダー機能】



各クラスのクラスルームには、各教科の課題の提出日等の情報が掲載されます。右上) 教科ごとに整理されています。締切が近づくとトップ画面にお知らせもできます。

カレンダー機能を使うと、右のように各教科の課題が切れに合わせて一覧でできます。このカレンダーは、自分のスケジュールも書き込めるので、自分なりに工夫して使うとさらに便利です。

